

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る 公共用水域等の継続モニタリング結果について

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る令和7年2月の公共用水域等の継続モニタリングの結果は、次のとおりでした。

1 調査日 令和7年2月10日(月)

2 調査結果

(単位：ng/L)

	令和5年		令和6年						令和7年
	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月
西側沢F1	62,000	—	54,000	—	—	72,000	—	—	—
西側沢E2	55	—	25	—	—	85	—	—	—
西側沢B2	4,600	3,100	2,500	10,000	11,000	4,800	5,200	4,300	3,100
河平ダム	1,100	1,100	960	960	1,400	1,600	1,200	1,600	1,400
山王橋	460	470	320	560	370	320	420	740	770
大下橋	15	13	11	29	24	15	14	23	—
宇甘溪	—	—	—	34	19	16	12	18	22
地下水① (山王橋付近)	390	—	340	—	—	410	—	—	470
地下水② (大下橋下流)	—	—	—	5.1	—	5未満	—	—	5未満

※ PFOSとPFOAの合計値であり、公共用水域及び地下水の要監視項目として、暫定指針値50ng/L以下が設定されている。

※ 令和7年2月から、継続モニタリングの地点及び頻度を次のとおり変更している。

地 点	令和6年12月まで	令和7年2月から
西側沢F1・E2	年2回(2・8月)	—
西側沢B2・河平ダム・山王橋・宇甘溪	年6回(偶数月)	年4回(2・5・8・11月)
大下橋	年6回(偶数月)	—
地下水①・②	年2回(2・8月)	年2回(2・8月)

3 今後の対応

- ・濃度は一定の変動があると考えており、モニタリングを継続(次回は令和7年5月の予定)し、濃度の推移を注視していく。

公共用水域等の継続モニタリング地点及び結果

